

## 陸奥湾湾口周辺海域のイカナゴ稚仔分布調査結果について

本調査は、令和5年2月10-11日及び3月5-6日に陸奥湾湾口周辺海域の12地点で、試験船・青鵬丸(65トン)でボンゴネット往復傾斜曳(水深0-50m)により実施しました。その結果、2月の調査でイカナゴ類の採捕はなく、3月の調査では、主要調査地点(St. 3、4、8、9、11、12)のうち平舘沖にあるSt. 12で1個体のみ採捕されました(図1)。3月の平均稚仔分布密度は0.0012個体/m<sup>3</sup>で、近年の調査に引き続き低い値であり、主要調査地点の2-3月平均稚仔分布密度は0.0006個体/m<sup>3</sup>で、昨年の0.0012個体/m<sup>3</sup>と同水準の低い値でした(図2)。(担当：資源管理部)

※令和5年度の陸奥湾湾口周辺海域のイカナゴ漁は、操業自粛が決定しています。

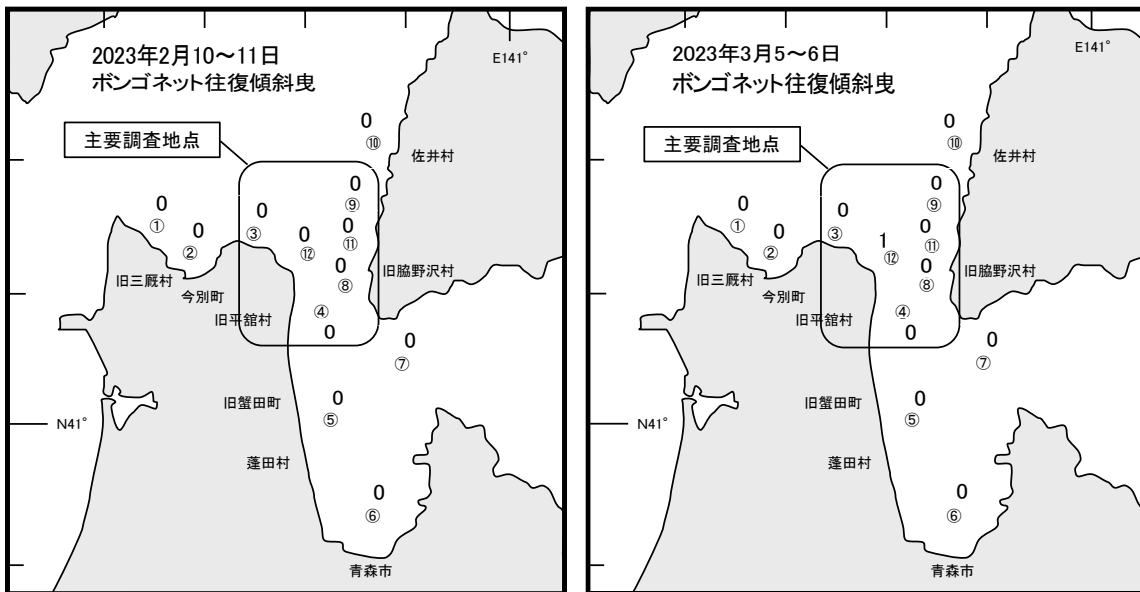


図1 イカナゴ稚仔魚分布密度調査結果(左：2月調査、右：3月調査)  
(単位：個体/100m<sup>3</sup>)

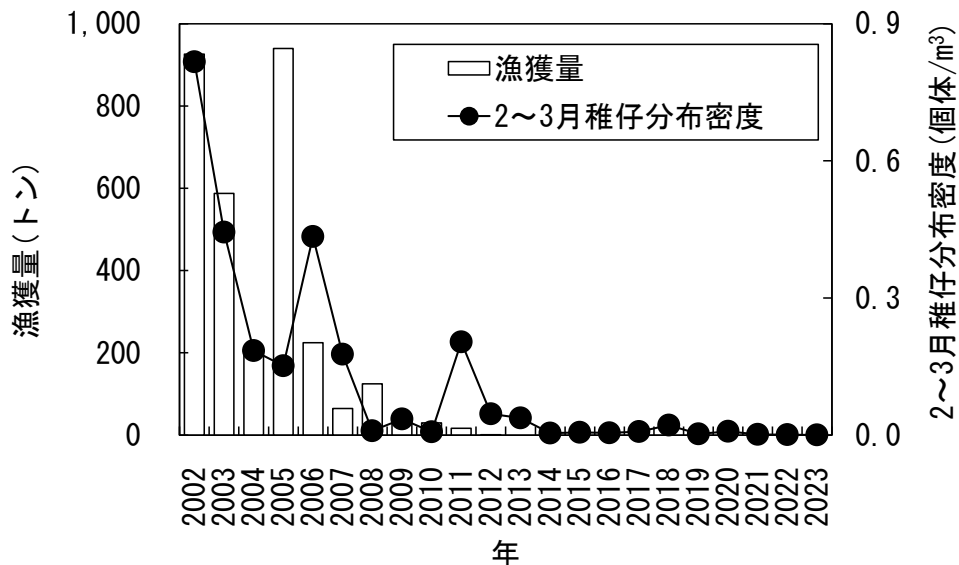


図2 イカナゴ漁獲量(外ヶ浜町～佐井村)と稚仔分布密度(主要調査地点平均値)の年推移